

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	2	選択
担当教員			
山崎 恭代			
C (商学部)	S (専門科目)	LW (法律)	202 (中級科目)

授業のねらい（概要）	経済の中心的担い手であり、重要な存在は株式会社です。本講義では、社会人として必要な会社（特に株式会社）の基本的な仕組みと運営に関する基礎的知識を習得すること、及び株式の法的仕組みを把握することによって、経済、経営、会計学の理解を深めたり、企業活動から生じる事象を理解したりする能力を養うための基礎作りを目指します。それと同時に、バブル崩壊後の企業の徹底的な効率化経営と株価・株主重視主義が招いた失業者の増加、格差の拡大を考えるために、エンロン粉飾決算事件、リーマンショック、東芝の不適切会計事件等を適宜題材として取り上げ、株式会社制度の問題点と現代的課題を検討します。		
授業計画	第1回	【遠隔】ガイダンス 授業の進め方、目的、概要、成績評価方法について 予習（時間）：シラバスを読み、講義概要を理解しておく。（120分） 復習（時間）：講義概要の内容を確認し、準備する。（120分）	
	第2回	【遠隔】会社の意義 個人企業と共同企業、会社の法的意義 予習（時間）：教科書38～40頁を読み、企業の意義を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、会社の法的意義について説明できるようにする。（120分）	
	第3回	【遠隔】会社の種類 会社にはどのような種類があるか 予習（時間）：教科書41～44頁を読み、会社の種類を把握しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、各種会社について、意義、特徴を説明できるようにする。（120分）	
	第4回	【遠隔】社員の責任 有限責任と無限責任 予習（時間）：教科書41～44頁を読み、社員の責任を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、有限責任と無限責任について説明できるようにする。（120分）	
	第5回	会社の設立方法 株式会社と他の種類の会社の設立方法 予習（時間）：教科書51～62頁を読み、会社ができるまでの流れを理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、会社の設立方法の概要を説明できるようにする。（120分）	
	第6回	株式① 株式の概要 予習（時間）：教科書62～69頁を読み、株式の概要を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、株式の法的意義について説明できるようにする。（120分）	
	第7回	株式② 株式譲渡自由の原則 予習（時間）：教科書69～76頁を読み、株式譲渡の概要を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、株式の自由譲渡の趣旨について説明できるようにする。（120分）	
	第8回	会社の機関① 株主総会 予習（時間）：教科書77～88頁を読み、株主総会の概要を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、株主総会の仕組みについて説明できるようにする。（120分）	
	第9回	会社の機関② 取締役会と取締役 予習（時間）：教科書88～94頁を読み、取締役会設置会社、取締役会非設置会社の概要を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、取締役会、取締役の役割と権限について説明できるようにする。（120分）	
	第10回	【課題】会社の機関③ 監査役、会計参与、会計監査人 予習（時間）：教科書110～115頁を読み、会社のチェック体制の概要を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、監査役、会計参与、会計監査人の役割と権限について説明できるようにする。（120分）	
	第11回	【課題】会社の機関④ 指名委員会等設置会社、社外取締役 予習（時間）：教科書115～121頁を読み、株式会社の多様な機関設計を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、社外取締役設置の趣旨について説明できるようにする。（120分）	
	第12回	株主代表訴訟 会社の権利能力、取締役の責任 予習（時間）：教科書44～45、94～109頁を読み、取締役の会社に対する責任を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、株主代表訴訟について説明できるようにする。（120分）	
	第13回	【課題】募集株式の発行等 新株予約権、ストックオプション 予習（時間）：教科書121～130頁を読み、株式会社が株式を発行する趣旨を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、会社が株式を発行する理由について説明できるようにする。（120分）	
	第14回	企業の再編（M&A）① 合併、親子会社 予習（時間）：教科書47、151～158頁を読み、会社を大規模化させる方法①を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、合併、親子会社の意義について説明できるようにする。（120分）	

	第15回 企業の再編（M&A）② 完全親子会社 予習（時間）：教科166～171頁を読み、会社を大規模化させる方法②を理解しておく。（120分） 復習（時間）：教科書、ノート、配布資料を確認し、完全親子会社について説明できるようにする。（120分）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（商学部）の1項目を意識した科目となっている。 3．専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 DP（経営学科）の1項目を意識した科目となっている。 2．経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多角的に理解し、活用できる能力 【身に付くスキル】 職業倫理感・情報活用能力
到達目標	①会社とは何かを知り、説明することができる。 ②社員とは何かを知り、説明することができる。 ③株式とは何かを知り、説明することができる。 ④経営者と出資者の概念を区別し、会社に対するそれぞれの責任と役割を説明することができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	授業内において課題（副種問題）を実施し、提出された課題は、次回の授業で回答方法うあ注意転などを解説します。
履修上の注意	遅刻や授業中の私語など他人の迷惑となる行為を慎み、真摯な態度で授業に臨むこと。
成績評価の方法・基準	学期末に行う定期試験 70%、授業内に指示した提出物及び学修意欲 30%。
教科書	書籍名：『（有斐閣アルマ）現代商法入門〔第10版〕』 ISBN番号：978-4-641-22120-8 著者名：近藤光男編 出版社：有斐閣 発行年：2019年 価格：2,000円（税別）
参考書・教材	
備考	講義科目 2020年度は、10、11、13回を課題研究として学修する。 第10回 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配付、および作業指示を授業内などで行い、その内容をまとめた1600～2000字程度のレポート課題を実施する。 これらの指示確認等を6、7回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 第11回 第10回同様の実施として、指示確認を8、9回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 第13回 第10回同様の実施として、指示確認を12、14回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。
教員との連絡方法	オフィスアワー